



# “りそにゃ”と

確定拠出年金・加入者の皆さまへのお役立ちニュースレター



2021  
September  
9月

制度〈基本〉

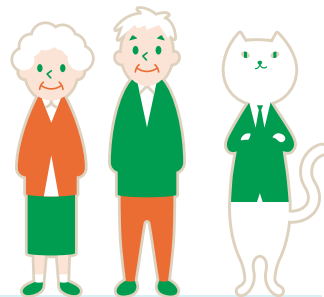
運用・商品〈基本〉

運用・商品〈実践〉

その他

## 老後資金はどのくらいかかる？

「人生の3大費用」の最後は老後資金です。平均寿命が年々延び、退職後の期間が長くなっていることもあり、人生で最も大きくかかる費用が老後の生活資金と言えます。今回は、老後資金を準備するための一般的な考え方を学びましょう。



### 何歳までの老後資金が必要か？

#### 現在60歳の方の平均余命

男性 **24.21年** (平均84.21歳)

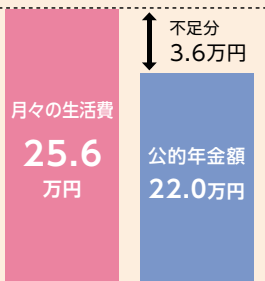
女性 **29.46年** (平均89.46歳)

出典：厚生労働省「令和2年簡易生命表」

60歳の方の平均余命を見ると、男女それぞれ85歳、90歳位まで生きられる時代になっています。また、今年6歳の子供は、男性の4人に1人、女性の2人に1人が90歳まで生きると考えられています。寿命は伸び続けています。自身がどこまで生きられるかはわかりませんが、90歳位までは生きると仮定して、老後資金の準備を考えておくと良さそうです。

### 平均的な老後の生活費はどのくらい？

#### 65歳以上の夫婦無職世帯



#### 65歳以上の単身無職世帯



出典：総務省「2020年家計調査報告(家計収支編)」

65歳以上の夫婦2人世帯の平均的な公的年金受給額は、平均月額で22.0万円です。平均的な生活を送るための生活費を25.6万円とすると、その差額3.6万円が毎月不足することになります。同様に、単身世帯では2.3万円が毎月不足することになります。

多くの方が年金受給開始の65歳まで働くことと仮定すると、90歳までの平均的な不足額は、

夫婦：3.6万円×12ヵ月×25年=1,080万円

単身：2.3万円×12ヵ月×25年= 690万円

2020年はコロナ禍で消費支出が控えられ、生活費が抑えられたことから、2年前の「老後2,000万円問題」の時とは数値に少し差があるものの、公的年金だけでは生活費すべてをカバーできないのが実状です。このような不足額は、65歳以降も働くことで収入を増やす、現役時代に準備した貯蓄等の資産を取り崩して生活する、等の方法で賄うことになります。

### コラム

#### 若い世代にも老後資金は必要！自分の場合は？

上記の老後の生活費は、あくまでも2020年の「平均的な数字」です。生活スタイルや社会の状況、現役時代の年収等によって、個人ごとに、生活費も受け取れる公的年金額も変わってきます。

一番大事なのは「自分の場合はどのような収支になるか」を知ることです。40代・50代の方は、自身の場合についてある程度予測を立てて、準備していきましょう。20代・30代の方は、今後のライフプランや収入の変化も大きく、具体的に考えるのは難しいですが、将来必要なお金と考えて、早くから少しずつでも老後資金の準備を始めておくと、毎月の負担が少なくて済みます。次号では、ご自身の場合について考えるヒントをお伝えします。

### 加入者サイトに入ってみよう！

りそな銀行確定拠出年金加入者サイトでは、皆さまの資産状況、運用商品状況のご確認、将来の受取金額シミュレーション、各種お手続きを行っていただけます。

<https://www.resona-tb.co.jp/401k/>

★9/16にHPのリニューアルを予定しています



2021年9月発行

りそな銀行 年金業務部 確定拠出年金室  
〒540-8607 大阪市中央区備後町2-2-1

本レターに関するお問合せ先

りそな銀行 確定拠出年金コールセンター

☎ 0120-401-987+「2#」

※海外からは国際フリーダイヤルをご利用ください。

本レターの無断引用・転載はお断りします。

